

令和 5 年 7 月 18 日

浜田市議会議長

先崎 様

議員名

牛尾 昭

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 5 年 7 月 5 日 (水) : 7~6:(木)

2. 研修内容

全国地方議会サミット 2023

3. 研修先

早稲田大学 マニエリ-研究所

4. 調査経費

10388 円

(経費内訳 (10000 円、388 円))

5. 調査研究活動の概要

別紙にて



全国地方議会サミット2023

研修先：早稲田大学マニフェスト研究所

期間令和5年7月5日～7月6日。

オンライン視察。

7月5日

基調講演「激変する時代に対応する議会を実装せよ」

北川正恭：早稲田大学名誉教授、元三重県知事

特別講演「デジタルで変わる社会地方と議会への期待」

河野太郎デジタル大臣

*デジタルで変わる自治体・政策

「マイナンバーカード交付率9割超え都城市のデジタル戦略」佐藤泰各：都城市デジタル戦略課。

「ChatGTP自治体活用実証横須賀市のデジタル戦略」

寒川孝之：横須賀市デジタル推進室。

「全国初県内全77市町村との共同電子図書館「デジ図書信州」」：森いずみ県立長野図書館長

*オンラインとデジタルを活かす

「議会デジタルの化の必要性 ChatGPTなどの生成系AI
とどう向き合うか」

河村和徳：東北大学大学院准教授

「デジタル・オンライン活用最前線AI活用による議会の視
覚化と市民参画」

金沢克仁：取手市議会議長。

*デジタルが拓く新しい民主主義「society 5.0時
代の新しい民主主義」

中村健：早稲田大学マニフェスト研究所事務局長。

「つくば市が取り組む選挙DXインターネット投票実証実
験より」

五十嵐立青：つくば市長。

7月6日。

「地方分権の20年とこれからの10年を展望する」

早稲田大学名誉教授：北川正恭

大正大学教授：片山善博

法政大学総長：広瀬克也

「政策議会の一般質問」

法政大学教授 : 土山希美枝

「自治体監査と議選監査委員を活かす」

大正大学教授 : 江藤俊明。

あきる野市議選監査委員 : 子籠敏人。

鎌倉市監査委員事務局長 : 谷川宏。

可児市議選監査委員 : 川上文浩。

奥州市議会議長 : 菅原由和。

関東学院大学教授 : 津軽石昭彦。

前大津市議会局長 : 清水克士。

考察、初日の河野デジタル大臣は、公務が入り、ビデオで挨拶となり、残念であった。二日目の冒頭の意見交換会は、非常に興味深いものであった。廣瀬総長の司会で、この20年間、日本の議会改革の先頭を走ってきた3者で盛り上がり、廣瀬さんが、北川正恭さんの話しを止める場面がありました。今後の10年間は、君たちが背負うべきという言葉に思わず緊張しました。もうひとつのテーマは、議選監査委員の問題

でした。今、一番ホットなテーマで、今後の課題としたいと
考えています。以上報告します。牛尾昭。